札幌医科大学医学部
アセスメント・マップ

令和６年３月２８日　医学部教授会了承

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できない既存の知識や技能では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々に敬意を払って接することができる。ことを理解し、常に他者の価値観や社会的背景が多様である。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
心理学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	c	E	c	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	c	c	c	c	c	c	E	E	E	c	E	E	c	E	E	E	E	E	E	E	c	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
評価形式 2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
評価形式 3	小テスト：筆記試験（記述式）	60																	b	b	b	b	b							b								b									
評価形式 4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
評価形式 5	口頭試験																																															
評価形式 6	レポート																																															
評価形式 7	成果発表	30				a		a																a				a																				
評価形式 8	質問紙法																																															
評価形式 9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
評価形式 10	OSCE																																															
評価形式 11	監査（オーディット）																																															
評価形式 12	ポートフォリオ																																															
評価形式 13	自己評価																																															
評価形式 14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10						b																																								
合計（100%）		100																																														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
医療倫理学	2	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	D	c	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	E
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 90	a	a	a	b	c	a											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																	
		5 口頭試験																	
		6 レポート																	
		7 成果発表																	
		8 質問紙法																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																	
		10 OSCE																	
		11 監査（オーディット）																	
		12 ポートフォリオ																	
		13 自己評価																	
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10																	
		合計（100%） 100																	
		目標とする平均点	75点																
		再試験の回数	1回																
		授業形態	対面授業科目																

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療				
			1 医学・医療に抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の敬意を払って接することができる。ことを理解し、常に他者に敬の意価値観や社会的背景が多様である	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し
医療倫理学	2	カリキュラム・マップ	D	D	D	E	E	E	D	E	E	C	D	D	D	C	E	E	E	E	D	D
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 90																				
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																				
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																				
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																				
		5 口頭試験																				
		6 レポート																				
		7 成果発表																				
		8 質問紙法																				
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																				
		10 OSCE																				
		11 監査（オーディット）																				
		12 ポートフォリオ																				
		13 自己評価																				
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10	c	c					b			a										
		合計（100%） 100																				
		目標とする平均点																				
		再試験の回数																				
		授業形態																				

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅷ. 国際貢献				
			1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療倫理学	2	カリキュラム・マップ	c	E	E	E	c
		アセスメント・マップ					
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）				
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 90					
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）					
		3 小テスト：筆記試験（記述式）					
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）					
		5 口頭試験					
		6 レポート					
		7 成果発表					
		8 質問紙法					
		9 直接観察法（模型または実際の患者）					
		10 OSCE					
		11 監査（オーディット）					
		12 ポートフォリオ					
		13 自己評価					
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10					
		合計（100%） 100					
		目標とする平均点					
		再試験の回数					
		授業形態					

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の尊厳を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
法学	1	カリキュラム・マップ	c	B	c	B	A	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	A	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）				②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	20		b																																								
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	80	a		c	b	a	b										a												b														
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	2回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
哲学	1	カリキュラム・マップ	D	C	C	D	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																	
		5 口頭試験																	
		6 レポート 90	a		a	b		a											
		7 成果発表																	
		8 質問紙法																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																	
		10 OSCE																	
		11 監査（オーディット）																	
		12 ポートフォリオ																	
		13 自己評価																	
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10																	
		合計（100%） 100																	
		目標とする平均点	75点																
		再試験の回数	1回																
		授業形態	対面授業科目																

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療				
			1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。
哲学	1	カリキュラム・マップ	E	D	D	E	E	E	D	E	E	C	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																				
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																				
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																				
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																				
		5 口頭試験																				
		6 レポート 90																				
		7 成果発表																				
		8 質問紙法																				
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																				
		10 OSCE																				
		11 監査（オーディット）																				
		12 ポートフォリオ																				
		13 自己評価																				
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10							b			a										
		合計（100%） 100																				
		目標とする平均点																				
		再試験の回数																				
		授業形態																				

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅷ. 国際貢献				
			1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
哲学	1	カリキュラム・マップ	C	E	E	E	E
		アセスメント・マップ					
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）				
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）					
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）					
		3 小テスト：筆記試験（記述式）					
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）					
		5 口頭試験					
		6 レポート 90					
		7 成果発表					
		8 質問紙法					
		9 直接観察法（模型または実際の患者）					
		10 OSCE					
		11 監査（オーディット）					
		12 ポートフォリオ					
		13 自己評価					
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10					
		合計（100%） 100					
		目標とする平均点					
		再試験の回数					
		授業形態					

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意思を尊重し敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療の実践に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
文学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																																
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																															
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																
		評価形式 2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																
		評価形式 3 小テスト：筆記試験（記述式） 40																																															c	
		評価形式 4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																
		評価形式 5 口頭試験																																																
		評価形式 6 レポート																																																
		評価形式 7 成果発表																																																
		評価形式 8 質問紙法																																																
		評価形式 9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																
		評価形式 10 OSCE																																																
		評価形式 11 監査（オーディット）																																																
		評価形式 12 ポートフォリオ																																																
		評価形式 13 自己評価																																																
		評価形式 14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 60（授業態度）																																																
		合計（100%） 100																																																

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1	2	3	4	5	6	II. 医学知識 1	2	3	4	5	III. 医療の実践 1	2	3	4	5	6
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。
言語と人間	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	C	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																	
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 60																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																	
		5 口頭試験																	
		6 レポート																	
		7 成果発表 30				a		a											
		8 質問紙法																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																	
		10 OSCE																	
		11 監査（オーディット）																	
		12 ポートフォリオ																	
		13 自己評価																	
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10						b											
		合計（100%） 100																	

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

科目名	単位数	学修成果と評価方法	IV. 問題対応能力 1	2	3	4	5	V. コミュニケーション 1	2	3	4	5	VI. 科学的探求 1	2	3	4	5	VII. 地域医療 1	2	3	4	5	VIII. 国際貢献 1	2	3	4	5
			医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の敬意を払って接することができる。ことを理解し、常に他者に敬意の意を値観や社会的背景が多様である。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
言語と人間	1	カリキュラム・マップ	C	C	C	C	C	C	E	E	E	C	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																									
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																									
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 60	b	b	b	b	b								b								b				
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																									
		5 口頭試験																									
		6 レポート																									
		7 成果発表 30						a				a															
		8 質問紙法																									
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																									
		10 OSCE																									
		11 監査（オーディット）																									
		12 ポートフォリオ																									
		13 自己評価																									
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10																									
		合計（100%） 100																									

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 抽出できる医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
社会学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	A	C	E	E	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	A	B	E	E	E	C	C	E	C	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート	100				a	c			b										b	b	a								a	c				a	b		b								
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

目標とする平均点	75点
再試験の回数	2回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
人類学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																	
		5 口頭試験																	
		6 レポート 100							a										
		7 成果発表																	
		8 質問紙法																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																	
		10 OSCE																	
		11 監査（オーディット）																	
		12 ポートフォリオ																	
		13 自己評価																	
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																	
		合計（100%） 100																	
		目標とする平均点	80点																
		再試験の回数	0回																
		授業形態	対面授業科目																

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅲ. 医療の実践			Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション				
			6	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者の意価値観や社会的接する	
人類学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	D	E	E	E	D		
		アセスメント・マップ													
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）												
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）													
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）													
		3 小テスト：筆記試験（記述式）													
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）													
		5 口頭試験													
		6 レポート 100													
		7 成果発表													
		8 質問紙法													
		9 直接観察法（模型または実際の患者）													
		10 OSCE													
		11 監査（オーディット）													
		12 ポートフォリオ													
		13 自己評価													
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載													
		合計（100%） 100													
		目標とする平均点													
		再試験の回数													
		授業形態													

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅴ. コミュニケーション	Ⅵ. 科学的探求									Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			6	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
人類学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																	
		5 口頭試験																	
		6 レポート 100				a													
		7 成果発表																	
		8 質問紙法																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																	
		10 OSCE																	
		11 監査（オーディット）																	
		12 ポートフォリオ																	
		13 自己評価																	
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																	
		合計（100%） 100																	
		目標とする平均点																	
		再試験の回数																	
		授業形態																	

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 者人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
数学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	90						b											a												b	b												
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	10						b											b												b	b												
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できない既存の知識や技能では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 者人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
応用統計学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	c	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	c	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	c	c	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式																																															
1	定期試験：筆記試験（記述式）	40							b											a											b	b															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
3	小テスト：筆記試験（記述式）	10							b											a											b	b															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
5	口頭試験																																														
6	レポート	50							b											a											b	b															
7	成果発表																																														
8	質問紙法																																														
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
10	OSCE																																														
11	監査（オーディット）																																														
12	ポートフォリオ																																														
13	自己評価																																														
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
	合計（100%）	100																																													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
基礎医学物理	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	E	D	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E
		アセスメント・マップ																						
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																					
	評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	100							a	a	a		b								a			
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																							
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																							
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																							
	5 口頭試験																							
	6 レポート																							
	7 成果発表																							
	8 質問紙法																							
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																							
	10 OSCE																							
	11 監査（オーディット）																							
	12 ポートフォリオ																							
	13 自己評価																							
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																							
	合計（100%）	100																						

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
基礎医学物理	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	D	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
	評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	100						b	a	a	a											
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																					
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																					
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																					
	5 口頭試験																					
	6 レポート																					
	7 成果発表																					
	8 質問紙法																					
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																					
	10 OSCE																					
	11 監査（オーディット）																					
	12 ポートフォリオ																					
	13 自己評価																					
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																					
	合計（100%）	100																				

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 医学知識 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 医療の実践 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 問題対応能力 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. コミュニケーション 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 科学的探求 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 地域医療 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 国際貢献 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	抽出できる。医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々に敬意を払って社会的背景が多様である。ことを理解し、常に他者及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
基礎生化学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）				②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	60						a	a	a																																		
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）	40						a	a	a																																		
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用でき	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意思を尊重し敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
基礎生命科学	2	カリキュラム・マップ	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	C	D	D	D	D	E	E	E	E	E	D	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			60	c						a	b	b	b	b							a	c	c	c	c						c	c	c	b											
	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	20							a	b	c	c	c							c																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）	10	c						a	b	c	c	c							a	c	c	c	c						c	c	c	c													
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	10							a	b	c	c	c							c																											
	5	口頭試験																																														
	6	レポート																																														
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回または2回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
放射線物理学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	D	D	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式） 100								a	a	a								
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																		
	5 口頭試験																		
	6 レポート																		
	7 成果発表																		
	8 質問紙法																		
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																		
	10 OSCE																		
	11 監査（オーディット）																		
	12 ポートフォリオ																		
	13 自己評価																		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																		
	合計（100%） 100																		
	目標とする平均点	80点																	
	再試験の回数	1回																	
	授業形態	対面授業科目																	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療				
			1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。
放射線物理学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式） 100													a								
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																					
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																					
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																					
	5 口頭試験																					
	6 レポート																					
	7 成果発表																					
	8 質問紙法																					
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																					
	10 OSCE																					
	11 監査（オーディット）																					
	12 ポートフォリオ																					
	13 自己評価																					
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																					
	合計（100%） 100																					
	目標とする平均点	80点																				
	再試験の回数	1回																				
	授業形態	対面授業科目																				

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅷ. 国際貢献					
			1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	
放射線物理学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	
		アセスメント・マップ						
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）					
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式） 100							
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）							
	3 小テスト：筆記試験（記述式）							
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）							
	5 口頭試験							
	6 レポート							
	7 成果発表							
	8 質問紙法							
	9 直接観察法（模型または実際の患者）							
	10 OSCE							
	11 監査（オーディット）							
	12 ポートフォリオ							
	13 自己評価							
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載							
	合計（100%） 100							
	目標とする平均点	80点						
	再試験の回数	1回						
	授業形態	対面授業科目						

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
生命科学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	C	D	E	D	D
		アセスメント・マップ																					
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																				
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 50							a	c	c								a	b		b	c
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 30							a	c	c								c				
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 5							b	c	c								a	b		b	c
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式） 15							b	c	c								c				
		5 口頭試験																					
		6 レポート																					
		7 成果発表																					
		8 質問紙法																					
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																					
		10 OSCE																					
		11 監査（オーディット）																					
		12 ポートフォリオ																					
		13 自己評価																					
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																					
		合計（100%） 100																					
		目標とする平均点	75点																				
		再試験の回数	1回																				
		授業形態	対面授業科目																				

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理につい	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことが	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
生命科学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	D	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 50						c	c	c	c	b										
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 30																				
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 5						c	c	c	c	b										
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式） 15																				
		5 口頭試験																				
		6 レポート																				
		7 成果発表																				
		8 質問紙法																				
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																				
		10 OSCE																				
		11 監査（オーディット）																				
		12 ポートフォリオ																				
		13 自己評価																				
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																				
		合計（100%） 100																				
		目標とする平均点																				
		再試験の回数																				
		授業形態																				

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
自然科学実験	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	D	D	C	D	D	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）																		
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	3							c										
	5 口頭試験																		
	6 レポート	77							b	b	a	b	b						
	7 成果発表																		
	8 質問紙法																		
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																		
	10 OSCE																		
	11 監査（オーディット）																		
	12 ポートフォリオ																		
	13 自己評価																		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20							c		c		b						
	合計（100%）	100																	
目標とする平均点		80点																	
再試験の回数		0回																	
授業形態		対面授業科目																	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求				
			1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者と接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。
自然科学実験	1	カリキュラム・マップ	D	C	E	C	E	D	E	E	E	E	E	C	B	B	E
		アセスメント・マップ															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）														
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）																
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	3		c		c											
	5 口頭試験																
	6 レポート	77	b	a		a		b						a	a	a	
	7 成果発表																
	8 質問紙法																
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																
	10 OSCE																
	11 監査（オーディット）																
	12 ポートフォリオ																
	13 自己評価																
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20		c		c		c						c	b	b	
	合計（100%）	100															
目標とする平均点		80点															
再試験の回数		0回															
授業形態		対面授業科目															

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
自然科学実験	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ										
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）									
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）											
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）											
	3 小テスト：筆記試験（記述式）											
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	3										
	5 口頭試験											
	6 レポート	77										
	7 成果発表											
	8 質問紙法											
	9 直接観察法（模型または実際の患者）											
	10 OSCE											
	11 監査（オーディット）											
	12 ポートフォリオ											
	13 自己評価											
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20										
	合計（100%）	100										
目標とする平均点		80点										
再試験の回数		0回										
授業形態		対面授業科目										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1	2	3	4	5	6	II. 医学知識 1	2	3	4	5	III. 医療の実践 1	2	3	4	5	6
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。
医学英語1a	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）	25																	
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	25																	
	5 口頭試験																		
	6 レポート	20																	
	7 成果発表	25																	
	8 質問紙法																		
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																		
	10 OSCE																		
	11 監査（オーディット）																		
	12 ポートフォリオ																		
	13 自己評価																		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載（出席）	5																	
	合計（100%）	100																	
目標とする平均点		75点																	
再試験の回数		1回																	
授業形態		対面授業科目																	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	IV. 問題対応能力 1	2	3	4	5	V. コミュニケーション 1	2	3	4	5	VI. 科学的探求 1	2	3	4	5	VII. 地域医療 1	2	3	4	5	VIII. 国際貢献 1	2	3	4	5
			医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々に敬意を払って接することができる。ことを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に配慮できる。を説明し、価値観の多様性を尊重した医療を実践できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学英語1a	1	カリキュラム・マップ	E	C	E	D	D	C	E	E	E	C	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	C
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																								
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）	25		c																			c				c
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																										
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																										
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	25		c																			c				c
	5 口頭試験																										
	6 レポート	20		b																			b				c
	7 成果発表	25						b				c											b				c
	8 質問紙法																										
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																										
	10 OSCE																										
	11 監査（オーディット）																										
	12 ポートフォリオ																										
	13 自己評価																										
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載（出席）	5				c	c	c				c			c								c				c
	合計（100%）	100																									
目標とする平均点		75点																									
再試験の回数		1回																									
授業形態		対面授業科目																									

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疫病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学英語1b	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	D	D	D	C	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	C	E	C
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
	評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式） 50																			c					c			c											c	c	c		b
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式） 25																			c					c			c											c	c	c		b
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 25																			c					c			c											c	c	c		b
		合計（100%） 100																																											
		目標とする平均点	75点																																										
		再試験の回数	1回																																										
		授業形態	対面授業科目																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の尊厳を敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
英会話	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表 60																																					c	c					
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 40（授業態度）																																					c	c					
		合計（100%） 100																																											
		目標とする平均点	75点																																										
		再試験の回数	1回																																										
		授業形態	対面授業科目																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意思を尊重し敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
ドイツ語	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																															
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 60																																															c				
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																		
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 20																																															c				
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																		
		5 口頭試験																																																		
		6 レポート																																																		
		7 成果発表																																																		
		8 質問紙法																																																		
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																		
		10 OSCE																																																		
		11 監査（オーディット）																																																		
		12 ポートフォリオ																																																		
		13 自己評価																																																		
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 20（聴、授業態度）																																															c				
		合計（100%） 100																																																		
		目標とする平均点	75点																																																	
		再試験の回数	1回																																																	
		授業形態	対面授業科目																																																	

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意向を尊重し敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
フランス語	1	**カリキュラム・マップ**	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																															
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 80																																																
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																
		5 口頭試験																																																
		6 レポート																																																
		7 成果発表																																																
		8 質問紙法																																																
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																
		10 OSCE																																																
		11 監査（オーディット）																																																
		12 ポートフォリオ																																																
		13 自己評価																																																
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 20（授業態度）																																																
		合計（100%） 100																																																
		目標とする平均点	75点																																															
		再試験の回数	1回																																															
		授業形態	対面授業科目																																															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意思を尊重し敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
ロシア語	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 60																																															
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 10																																															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
		5 口頭試験																																															
		6 レポート																																															
		7 成果発表																																															
		8 質問紙法																																															
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																															
		10 OSCE																																															
		11 監査（オーディット）																																															
		12 ポートフォリオ																																															
		13 自己評価																																															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 30（授業態度、出席）																																															
		合計（100%） 100																																															

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意思を尊重し敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
中国語	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 60																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 10																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表 20																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10（授業態度、出席）																																											
		合計（100%） 100																																											
		目標とする平均点	75点																																										
		再試験の回数	1回																																										
		授業形態	対面授業科目																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意思を尊重し敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
スポーツと健康	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	C	E	C	C	C	D	E	E	C	E	E	E	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	C	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
	評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート	90					b		a	a	a	a			b			b										b													a	a				
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10									a	a																																			
		合計（100%）	100																																													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用でき	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意向を尊重し敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
情報科学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			100	I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）								a												c	c																									
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート																																														
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
合計（100%）			100																																													

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
行動科学実習	1	カリキュラム・マップ	D	E	D	E	E	D	D	D	C	C	D	E	E	E	D	E	E	C	B	D	C	D
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																					
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																						
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																						
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 50																			a			
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																						
		5 口頭試験																						
		6 レポート 50									a	a							a	a		a		
		7 成果発表																						
		8 質問紙法																						
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																						
		10 OSCE																						
		11 監査（オーディット）																						
		12 ポートフォリオ																						
		13 自己評価																						
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																						
		合計（100%） 100																						

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 者人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬の意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
行動科学実習	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	D	D	C	C	E	E	E	E	E	E	E	D	E	E	E
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																				
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																				
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 50								a	a											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																				
		5 口頭試験																				
		6 レポート 50								a	a											
		7 成果発表																				
		8 質問紙法																				
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																				
		10 OSCE																				
		11 監査（オーディット）																				
		12 ポートフォリオ																				
		13 自己評価																				
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																				
		合計（100%） 100																				

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	Ⅱ. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	Ⅲ. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	Ⅳ. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を構築する。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	Ⅴ. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の敬意を払って接することができる。人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	Ⅵ. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	Ⅶ. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	Ⅷ. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学史	0.5	カリキュラム・マップ	c	c	E	c	D	c	c	c	D	D	c	E	E	E	E	D	E	D	D	E	E	D	c	c	E	E	c	D	D	D	D	E	E	D	E	E	E	D	E	E	E	E

アセスメント・マップ

評価形式		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																																
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																
5	口頭試験																																																
6	レポート	50	a	a		a		a	a	a			a												a				a																				
7	成果発表	40	a	a		a		a	a	a			a												a	a			a																				
8	質問紙法																																																
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																
10	OSCE																																																
11	監査（オーディット）																																																
12	ポートフォリオ																																																
13	自己評価																																																
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 出席状況																							b	b			a																				
	合計（100%）	100																																															

目標とする平均点	80点	
再試験の回数	0回	再評価の機会は設ける
授業形態	対面授業科目	

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できる既存の知識や技能では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学入門セミナー	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	C	D	D	D	E	E	E	E	E	E	D	E	E	D	E	E	E	E	E	E	C	C	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
	5	口頭試験																																															
	6	レポート	100							a																				a	a																		
	7	成果発表																																															
	8	質問紙法																																															
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
	10	OSCE																																															
	11	監査（オーディット）																																															
	12	ポートフォリオ																																															
	13	自己評価																																															
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
合計（100%）			100																																														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観を尊重し敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
初年次セミナー	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	D	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	E	E	C	C	D	D	D	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート	50																					a					a																	
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ	30					b																	a				b																	
	13	自己評価	20																										a																	
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 抽出できる医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学概論・医療総論1	0.5	カリキュラム・マップ	c	c	D	c	c	c	D	D	D	E	c	E	E	E	E	D	E	c	c	c	E	c	c	D	c	D	c	E	E	E	E	E	c	D	E	E	D	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート	75	a	a	b	c	b	c													b	c													a	b										
	7	成果発表	15	a	b	b	c	b	c													b	c													b	c										
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10（利務所見学時の出席点）																						a		a																					
		合計（100%）	100																																													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回　再評価の機会は設ける
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の敬意を払って接することができる。ことを理解し、常に他者に	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる。を説明し、価値観の多様性を尊重し	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
地域医療合同セミナー1	1	カリキュラム・マップ	c	D	D	**c**	D	c	E	E	E	D	D	D	D	D	E	D	D	D	D	D	E	D	B	C	B	D	C	D	E	E	E	E	**c**	D	D	**c**	D	D	D	E	E	D
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
	評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート	60	a					c																c	c	c		b					a			b								
	7	成果発表	20	a					c																b	c	a		b					b			c								
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20	b			c		c																a	c	b		b					b			c								
		合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	85点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない知識や技能	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療行動科学1	1	カリキュラム・マップ	D	E	D	D	E	C	C	C	C	B	D	E	E	E	E	E	E	D	E	D	E	D	E	E	E	E	D	D	D	D	D	D	E	B	E	D	E	C	B	B	B	B	B

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート	100					a	b	a	b	a																								a				a	a	a	a	a	a
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 者人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
死生学	1	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	D	c	E	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	D	D	D	E	E	E	D	D	E	c	D	D	D	D	E	D	E	D	D	D	c	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	100	a		a	b		a												c															c								
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
肉眼解剖学	2.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	D	C	D	D	D	E	E	E	E	E	D	D	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）				②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	70							a	a	a	a								a											a													
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	30							a	a	a	a																																
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
発生生物学	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	D	C	D	D	D
		アセスメント・マップ																						
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																					
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 70							a	a	a	a									a			
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 30							a	a	a	a												
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																						
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																						
		5 口頭試験																						
		6 レポート																						
		7 成果発表																						
		8 質問紙法																						
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																						
		10 OSCE																						
		11 監査（オーディット）																						
		12 ポートフォリオ																						
		13 自己評価																						
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																						
		合計（100%） 100																						
		目標とする平均点	75点																					
		再試験の回数	1回																					
		授業形態	対面授業科目																					

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬の意価値観や社会的接する	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
発生生物学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	D	D	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 70								a												
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 30																				
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																				
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																				
		5 口頭試験																				
		6 レポート																				
		7 成果発表																				
		8 質問紙法																				
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																				
		10 OSCE																				
		11 監査（オーディット）																				
		12 ポートフォリオ																				
		13 自己評価																				
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																				
		合計（100%） 100																				
		目標とする平均点																				
		再試験の回数																				
		授業形態																				

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意思を尊重し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
細胞・組織学1	1	カリキュラム・マップ	D	E	D	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	C	C	D	D	E	E	E	E	E	D	D	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 30							a	b	a	b									b	c										c	c														
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 60							a	b	a	b									b	c										c	c														
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	5	口頭試験																																														
評価形式	6	レポート																																														
評価形式	7	成果発表																																														
評価形式	8	質問紙法																																														
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
評価形式	10	OSCE																																														
評価形式	11	監査（オーディット）																																														
評価形式	12	ポートフォリオ																																														
評価形式	13	自己評価																																														
評価形式	14	その他 課題提出などとの総合判定とする 10							b	b	b	b									b	c										b																
		合計（100%） 100																																														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できない既存の知識や技能では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
分子生物学1	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 40							a	a	a	a																		b	a	a	a														
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 60							a	a	a	a																		b	a	a	a														
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート																																														
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%） 100																																														
		目標とする平均点	70点																																													
		再試験の回数	1回																																													
		授業形態	対面授業科目																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意思を尊重し敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
免疫学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	70						a	a	a	a																		b	a	a	a											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	30						a	a	a	a																		b	a	a	a											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意向を尊重し敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、医療活動に応用できる。疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
免疫学実習	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	c	c	c	c	D	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	c	c	c	c	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート	80						a	a	a	a																		b	a	a	a												
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20						b	b	b	b																		b	b	b	b												
		合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
国際医療	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																	
		①評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																	
		5 口頭試験																	
		6 レポート 100																	
		7 成果発表																	
		8 質問紙法																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																	
		10 OSCE																	
		11 監査（オーディット）																	
		12 ポートフォリオ																	
		13 自己評価																	
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																	
		合計（100%） 100																	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求				
			1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って接することができる。ことを理解し、常に他者の意価値観や社会的背景が多様である。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。
国際医療	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ															
		①評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）															
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															
		3 小テスト：筆記試験（記述式）															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
		5 口頭試験															
		6 レポート 100															
		7 成果発表															
		8 質問紙法															
		9 直接観察法（模型または実際の患者）															
		10 OSCE															
		11 監査（オーディット）															
		12 ポートフォリオ															
		13 自己評価															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
		合計（100%） 100															

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
国際医療	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	c	c	c	c	c	c
		アセスメント・マップ										
		①評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）									
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）										
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）										
		3 小テスト：筆記試験（記述式）										
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）										
		5 口頭試験										
		6 レポート 100					c	a	b	a	c	a
		7 成果発表										
		8 質問紙法										
		9 直接観察法（模型または実際の患者）										
		10 OSCE										
		11 監査（オーディット）										
		12 ポートフォリオ										
		13 自己評価										
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載										
		合計（100%） 100										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
医学英語2	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）	30																	
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	25																	
	5 口頭試験																		
	6 レポート																		
	7 成果発表																		
	8 質問紙法																		
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																		
	10 OSCE																		
	11 監査（オーディット）																		
	12 ポートフォリオ																		
	13 自己評価																		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	45																	
	合計（100%）	100																	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医学・医師の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って接することができる。ことを理解し、常に他	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践を国際的視野に立って実践する基	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学英語2	0.5	カリキュラム・マップ	E	D	E	E	E	D	D	D	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	B	E	D	E	D
		アセスメント・マップ																									
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																								
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）	30		c								c										c	c		c		c
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																										
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																										
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	25		c								c										c	c		c		c
	5 口頭試験																										
	6 レポート																										
	7 成果発表																										
	8 質問紙法																										
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																										
	10 OSCE																										
	11 監査（オーディット）																										
	12 ポートフォリオ																										
	13 自己評価																										
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	45		c				c	c	c		c										c	c		c		c
	合計（100%）	100																									

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 抽出できる医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々に敬意を払って接することができる。ことを理解し、常に他者に	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学概論・医療総論2	0.5	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	c	c	E	E	E	D	D	D	E	E	E	D	c	D	c	c	E	D	c	c	c	c	c	D	E	E	E	E	D	D	E	c	c	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート	70	a	b	c	c	c	c											c		c	c			a	c	c	c	a									c	c								
		7 成果発表	10	a	b	c	c	c	c											c		c	c			a	c	c	c	a									c	c								
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20	a	b	c	c	c	c											c		c	c			a	c	c	c	a									c	c								
		合計（100%）	100																																													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
地域医療合同セミナー2	1	カリキュラム・マップ	c	D	D	c	D	c	D	D	E	D	D	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）																		
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																		
	5 口頭試験																		
	6 レポート	60	c			c		c											
	7 成果発表	20	c			c		c											
	8 質問紙法																		
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																		
	10 OSCE																		
	11 監査（オーディット）																		
	12 ポートフォリオ																		
	13 自己評価																		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20	c			c		b											
	合計（100%）	100																	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 抽出できる。医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の敬意を払って社会的背景が多様である。ことを理解し、常に他者に接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる。課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
地域医療合同セミナー2	1	カリキュラム・マップ	D	c	c	D	D	B	c	c	c	B	D	E	E	E	E	c	c	E	c	D	E	D	E	D	E
		アセスメント・マップ																									
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																								
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）																										
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																										
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																										
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																										
	5 口頭試験																										
	6 レポート	60		c	c													a	b		c						
	7 成果発表	20		c	c			a		c	c	c						a	c		c						
	8 質問紙法																										
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																										
	10 OSCE																										
	11 監査（オーディット）																										
	12 ポートフォリオ																										
	13 自己評価																										
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20		c	c			a	c	b	b	a						a	c		c						
	合計（100%）	100																									

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない既存の知識や技能を有し活用できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って社会的背景が多様である。ことを理解し、常に他者の価値観や社会的に接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる。を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療行動科学2	0.5	カリキュラム・マップ	D	E	D	D	E	B	C	C	C	B	C	E	E	E	E	E	E	D	E	D	E	D	E	C	E	E	B	D	D	D	D	E	B	D	C	E	B	B	B	B	B	B

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式）																																												
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
5	口頭試験																																												
6	レポート	100					a	b	a	a	a									b				b			b						a				a	a	a	a	a	a			
7	成果発表																																												
8	質問紙法																																												
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																												
10	OSCE																																												
11	監査（オーディット）																																												
12	ポートフォリオ																																												
13	自己評価																																												
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																												
合計（100%）		100																																											

目標とする平均点	75点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
医療統計学入門	0.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	C	C	D	C	D	E	E	E	D	D	D	D	D	C	C	D
		アセスメント・マップ																						
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																					
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																						
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																						
	3	小テスト：筆記試験（記述式） 35							b			b										a	a	
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																						
	5	口頭試験																						
	6	レポート 65								a												a	a	
	7	成果発表																						
	8	質問紙法																						
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																						
	10	OSCE																						
	11	監査（オーディット）																						
	12	ポートフォリオ																						
	13	自己評価																						
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																						
		合計（100%） 100																						

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療統計学入門	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	D	D	D	C	D	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																				
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																				
	3	小テスト：筆記試験（記述式） 35																				
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																				
	5	口頭試験																				
	6	レポート 65									a											
	7	成果発表																				
	8	質問紙法																				
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																				
	10	OSCE																				
	11	監査（オーディット）																				
	12	ポートフォリオ																				
	13	自己評価																				
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																				
		合計（100%） 100																				

目標とする平均点	75点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 者人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
肉眼解剖学実習	3	カリキュラム・マップ	D	D	C	C	D	C	C	D	C	D	C	E	E	E	E	E	E	D	C	D	C	D	C	D	E	E	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 20							a		a		a																																			
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験 70							a		a		a								a																											
		6 レポート																																														
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10 実習態度			a	a		a															a		a																							
		合計（100%） 100																																														
		目標とする平均点	75点																																													
		再試験の回数	1回																																													
		授業形態	対面授業科目																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意向を尊重し敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
細胞・組織学2	2.5	カリキュラム・マップ	D	E	D	E	E	D	B	C	B	C	D	E	E	E	E	E	E	D	C	C	D	D	E	E	E	E	E	D	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 30							a	b	a	b									b	c									c	c																
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 60							a	b	a	b									b	c									c	c																
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート																																														
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 特別講義課題などを加味した総合的判断とする 10							b	b	a	b																			c	b	b															
		合計（100%） 100																																														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム 1	2	3	4	5	6	Ⅱ. 医学知識 1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。
神経解剖学	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	B	C	B	C	D
		アセスメント・マップ											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 30							a	b	a	a	
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 60							a	b	a	a	
	3	小テスト：筆記試験（記述式）											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）											
	5	口頭試験											
	6	レポート											
	7	成果発表											
	8	質問紙法											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）											
	10	OSCE											
	11	監査（オーディット）											
	12	ポートフォリオ											
	13	自己評価											
	14	その他 脳実習小テストとの総合成績を判定する 10	c	c	c	c	c	c			a		
		合計（100%） 100											

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅲ. 医療の実践 1	2	3	4	5	6	Ⅳ. 問題対応能力 1	2	3	4	5
			病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
神経解剖学	1	カリキュラム・マップ	E	E	C	E	E	E	D	C	D	C	D
		アセスメント・マップ											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 30			b					c		c	
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 60			b					c		c	
	3	小テスト：筆記試験（記述式）											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）											
	5	口頭試験											
	6	レポート											
	7	成果発表											
	8	質問紙法											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）											
	10	OSCE											
	11	監査（オーディット）											
	12	ポートフォリオ											
	13	自己評価											
	14	その他 脳実習小テストとの総合成績を判定する 10								b		c	
		合計（100%） 100											

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅴ. コミュニケーション 1	2	3	4	5	Ⅵ. 科学的探求 1	2	3	4	5
			礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の意価値を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬の意を表する。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。
神経解剖学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	D	D	C	D	E
		アセスメント・マップ										
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 30								b		
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 60								b		
	3	小テスト：筆記試験（記述式）										
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）										
	5	口頭試験										
	6	レポート										
	7	成果発表										
	8	質問紙法										
	9	直接観察法（模型または実際の患者）										
	10	OSCE										
	11	監査（オーディット）										
	12	ポートフォリオ										
	13	自己評価										
	14	その他 脳実習小テストとの総合成績を判定する 10								c		
		合計（100%） 100										

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅶ. 地域医療 1	2	3	4	5	Ⅷ. 国際貢献 1	2	3	4	5
			地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践する。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
神経解剖学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ										
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 30										
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 60										
	3	小テスト：筆記試験（記述式）										
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）										
	5	口頭試験										
	6	レポート										
	7	成果発表										
	8	質問紙法										
	9	直接観察法（模型または実際の患者）										
	10	OSCE										
	11	監査（オーディット）										
	12	ポートフォリオ										
	13	自己評価										
	14	その他 脳実習小テストとの総合成績を判定する 10										
		合計（100%） 100										

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意思を尊重し敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
組織学・脳実習	2.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	B	B	C	B	C	D	E	E	E	E	E	E	D	B	C	B	D	C	E	C	E	E	D	C	B	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	60						a	b	a	b									b		b								c	a	b														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	20						a	b	a	b																																				
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート																																														
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 スケッチブック 評点との総合判定とする	20	c	c	c	c	c	b	a	a	a	a								b	c	b		b		b				c	a	b	b													
		合計（100%）	100																																													

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
細胞・器官生理学	4.5	カリキュラム・マップ	D	E	D	D	E	E	C	B	B	D	E	E	D	E	E	E	E	B	B	B	B	D	E	E	D	E	E	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 50							a	a	a									a	a	a	a							c	c	c	c												
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 50							a	a	a																																		
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%） 100																																											

目標とする平均点	70点
再試験の回数	2回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1	2	3	4	5	6	II. 医学知識 1	2	3	4	5	III. 医療の実践 1	2	3	4	5	6
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。
神経生理学	2.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	B	B	B	C	C	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 50							a	a	a	b	b						
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 50							a	a	a	b	b						
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																	
		5 口頭試験																	
		6 レポート																	
		7 成果発表																	
		8 質問紙法																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																	
		10 OSCE																	
		11 監査（オーディット）																	
		12 ポートフォリオ																	
		13 自己評価																	
		14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載																	
		合計（100%） 100																	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	IV. 問題対応能力 1	2	3	4	5	V. コミュニケーション 1	2	3	4	5	VI. 科学的探求 1	2	3	4	5	VII. 地域医療 1	2	3	4	5	VIII. 国際貢献 1	2	3	4	5
			医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を尊重し医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
神経生理学	2.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																									
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																								
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 50																									
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 50																									
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																									
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																									
		5 口頭試験																									
		6 レポート																									
		7 成果発表																									
		8 質問紙法																									
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																									
		10 OSCE																									
		11 監査（オーディット）																									
		12 ポートフォリオ																									
		13 自己評価																									
		14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載																									
		合計（100%） 100																									

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意思を尊重し敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
生化学	2.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
	評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	45							a	a	a	a	b							a	a	a	a	b						b	b	a	a													
	評価形式 2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	45							a	a	a	a	b							a	a	a	a	b						b	b	a	a													
	評価形式 3 小テスト：筆記試験（記述式）	5							a	a	a	a	b							a	a	a	a	b						b	b	a	a													
	評価形式 4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
	評価形式 5 口頭試験																																															
	評価形式 6 レポート																																															
	評価形式 7 成果発表																																															
	評価形式 8 質問紙法																																															
	評価形式 9 直接観察法（模型または実際の患者）																																															
	評価形式 10 OSCE																																															
	評価形式 11 監査（オーディット）																																															
	評価形式 12 ポートフォリオ																																															
	評価形式 13 自己評価																																															
	評価形式 14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5 学習態度											a											a							a	a																
	合計（100%）	100																																														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用でき	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
分子生物学2	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
	評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	50							a	a	a	a																		b	a	a	a														
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50							a	a	a	a																		b	a	a	a														
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																																															
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
	5 口頭試験																																															
	6 レポート																																															
	7 成果発表																																															
	8 質問紙法																																															
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																																															
	10 OSCE																																															
	11 監査（オーディット）																																															
	12 ポートフォリオ																																															
	13 自己評価																																															
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
	合計（100%）	100																																														

目標とする平均点	85点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの構成員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意向を敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
薬理学	3.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	c	c	c	E	E	E	E	E	E	E	E	c	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式				I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	25								a	a	a																																		
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	70								a	a	a																																		
	3	小テスト：筆記試験（記述式）	5								a	a	a									c																								
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																													
	5	口頭試験																																													
	6	レポート																																													
	7	成果発表																																													
	8	質問紙法																																													
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																													
	10	OSCE																																													
	11	監査（オーディット）																																													
	12	ポートフォリオ																																													
	13	自己評価																																													
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																													
		合計（100%）	100																																												

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 者人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人に敬の意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
生理・薬理学実習	0.5	カリキュラム・マップ	D	E	D	E	E	E	B	B	D	B	D	E	E	E	E	E	E	E	B	B	B	E	D	E	D	E	D	E	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート	90						a	a		a									a	a	a								a	a													
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10						b	b		b									b	b	b								b	b													
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	70点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	Ⅱ. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	Ⅲ. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	Ⅳ. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	Ⅴ. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 者人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	Ⅵ. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	Ⅶ. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	Ⅷ. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
生化学実習	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	c	c	c	c	c	E	E	E	E	E	E	c	c	c	c	c	E	E	E	E	E	D	c	c	c	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート	80							a	a	a	a	b							b	a	a	a	b						a	a	a															
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20 実験態度																												a	a																
		合計（100%）	100																																													

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意向を尊重し敬の意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
病理学1	4	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	E	E	B	E	E	E	B	B	B	B	B	B	E	E	E	E	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式） 10							b	b	b	b				a				a	a	a	a							b	b	b	b	b													
評価形式	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 80							a	a	a	a				a				b	b	b	b																									
評価形式	3 小テスト：筆記試験（記述式）																																													
評価形式	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																													
評価形式	5 口頭試験																																													
評価形式	6 レポート																																													
評価形式	7 成果発表																																													
評価形式	8 質問紙法																																													
評価形式	9 直接観察法（模型または実際の患者）																																													
評価形式	10 OSCE																																													
評価形式	11 監査（オーディット）																																													
評価形式	12 ポートフォリオ																																													
評価形式	13 自己評価																																													
評価形式	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10											a											a	a																							
	合計（100%） 100																																													

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
病理学2	2.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	C	B	B	B	B	B	E	E	D	E	E	E
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）	20							a	a	a	a	a						
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	60							a	a	a	a	a						
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																		
	5 口頭試験																		
	6 レポート	15							a	a	a	a	a						
	7 成果発表																		
	8 質問紙法																		
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																		
	10 OSCE																		
	11 監査（オーディット）																		
	12 ポートフォリオ																		
	13 自己評価																		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5																	
	合計（100%）	100																	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求				
			1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者の意思を尊重して接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。
病理学2	2.5	カリキュラム・マップ	C	C	B	B	C	E	E	E	E	E	B	B	B	B	C
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）														
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）	20	b	b	b	b	b						c	a	a	b	c
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	60	c	b	c	b	c						c	a	a	b	c
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																
	5 口頭試験																
	6 レポート	15	c	b	b	b	c						c	c	c	c	c
	7 成果発表																
	8 質問紙法																
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																
	10 OSCE																
	11 監査（オーディット）																
	12 ポートフォリオ																
	13 自己評価																
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5	c	c	c	c	c										
	合計（100%）	100															

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
病理学2	2.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	E	D	D
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）									
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）	20										
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	60										
	3 小テスト：筆記試験（記述式）											
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）											
	5 口頭試験											
	6 レポート	15										
	7 成果発表											
	8 質問紙法											
	9 直接観察法（模型または実際の患者）											
	10 OSCE											
	11 監査（オーディット）											
	12 ポートフォリオ											
	13 自己評価											
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5										
	合計（100%）	100										

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	Ⅱ. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	Ⅲ. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	Ⅳ. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	Ⅴ. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って接することができる。	Ⅵ. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	Ⅶ. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	Ⅷ. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
微生物学	4	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	c	c	D	D	D	D	D	c	E	c	E	c	D	D	E	c	D	E	D	E	D	E	D	c	D	c	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
	評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式） 40							a	a	b	a	c	c	a	b		a		c	b	c		c			c		c		c	b	b	c													
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 42							a	a	b	b		c	b			b			c	c									c	c															
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式） 5							a	c					c						c				c						c																	
	5	口頭試験																																														
	6	レポート 8							a	a	b	b	b		b	b		a			a	b		c	c		c		c		c	b	b	c													
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 5								b	b	b			c	c		a			b	b		a					b		c		b														
		合計（100%） 100																																														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
基礎腫瘍学	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	B	C	B	B	B	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	B	B	B	B	C	E	E	E	E	E	E	C	E	D	D
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
	評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式） 20							a	a	a	a	a							b	b	b	b	b						c	b	b	b	c											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 60							a	a	a	a	a							b	b	b	b	b						c	b	b	b	b											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート 20							b	c	b	b	c							c	c	c	c	c																					
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%） 100																																											

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	抽出できる。医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
微生物学実習	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	D	D	E	E	C	C	C	C	D	D	C	D	C	C	E	D	D	C	C	D	D	E	D	E	E	E	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
評価形式																																													
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																												
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
5	口頭試験																																												
6	レポート	60							a	a	b	b	b	c	b	c	b	a		c	c	c	c	b			c				c	a	b	c											
7	成果発表																																												
8	質問紙法																																												
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																												
10	OSCE																																												
11	監査（オーディット）																																												
12	ポートフォリオ																																												
13	自己評価																																												
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	40			c	c							b			b		b							b						b	b													
合計（100%）		100																																											

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
感染症学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	C	C	C	C	D	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式																																															
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90							a	a	a	a		a	a	a																															
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																																														
	合計（100%）	100																																														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮した医療の実践に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力をつけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学英語3	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C

アセスメント・マップ

評価形式		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目） I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																												
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
5	口頭試験																																												
6	レポート	10							a																																a	a			a
7	成果発表	70							a																																a	a			a
8	質問紙法																																												
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																												
10	OSCE																																												
11	監査（オーディット）																																												
12	ポートフォリオ																																												
13	自己評価																																												
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20 学習態度																																								a	a		
合計（100%）		100																																											

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学概論・医療総論3	0.5	カリキュラム・マップ	C	C	C	C	C	B	D	D	D	D	C	D	D	E	E	D	E	D	C	C	D	C	B	C	B	C	C	E	E	E	E	E	C	D	D	B	C	E	D	E	D	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート	30	c	c	c	c	c					c								a	b		a					b																			
		7 成果発表	20																						b		b																					
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	50					a														a			a	c	b	c	b																			
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
地域医療合同セミナー3	1	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	c	b	D	D	D	D	c	D	D	E	E	D	E
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）																		
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																		
	5 口頭試験																		
	6 レポート	30	c	c	c	c	c	c					c						
	7 成果発表	30																	
	8 質問紙法																		
	9 直接観察法（模型または実際の患者）	30						b											
	10 OSCE																		
	11 監査（オーディット）																		
	12 ポートフォリオ																		
	13 自己評価	10						c											
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																		
	合計（100%）	100																	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療				
			1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。
地域医療合同セミナー3	1	カリキュラム・マップ	D	c	c	D	c	B	C	B	c	c	E	E	E	E	D	c	D	D	B	c
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）																					
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																					
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																					
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																					
	5 口頭試験																					
	6 レポート	30		c	c		c											b			a	c
	7 成果発表	30						a														
	8 質問紙法																					
	9 直接観察法（模型または実際の患者）	30						a		a	b											
	10 OSCE																					
	11 監査（オーディット）																					
	12 ポートフォリオ																					
	13 自己評価	10						c		c	c											
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																					
	合計（100%）	100																				

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅷ. 国際貢献																			
			1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。															
地域医療合同セミナー3	1	カリキュラム・マップ	E	D	E	D	E															
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）																					
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																					
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																					
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																					
	5 口頭試験																					
	6 レポート	30																				
	7 成果発表	30																				
	8 質問紙法																					
	9 直接観察法（模型または実際の患者）	30																				
	10 OSCE																					
	11 監査（オーディット）																					
	12 ポートフォリオ																					
	13 自己評価	10																				
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																					
	合計（100%）	100																				

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	Ⅱ. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	Ⅲ. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	Ⅳ. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	Ⅴ. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に接することができる。	Ⅵ. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	Ⅶ. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	Ⅷ. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療行動科学3	0.5	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	B	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート	100	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a							a	a	a	a	a	b	b	b	a	a	a	a	a	a	b	a	a	a	a	a	b	b	b	b	b	b	b
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
医療統計学1	0.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	C	D	C	C	D	C	C	E	E	E	D	D	D	D	D	C	C	D
		アセスメント・マップ																						
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																					
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																						
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																						
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 25										b	a											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																						
		5 口頭試験																						
		6 レポート 75					a		a	a											a	a		
		7 成果発表																						
		8 質問紙法																						
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																						
		10 OSCE																						
		11 監査（オーディット）																						
		12 ポートフォリオ																						
		13 自己評価																						
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																						
		合計（100%） 100																						

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者の意価値観や社会的接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療統計学1	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	C	D	D	C	D	D	D	E	E	E	D	D	D	C	D
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																				
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																				
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 25						b												b		
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																				
		5 口頭試験																				
		6 レポート 75									a											
		7 成果発表																				
		8 質問紙法																				
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																				
		10 OSCE																				
		11 監査（オーディット）																				
		12 ポートフォリオ																				
		13 自己評価																				
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																				
		合計（100%） 100																				

目標とする平均点	75点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進を身につけ疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
遺伝医学	1	カリキュラム・マップ	B	C	B	B	C	B	C	C	B	B	C	C	D	D	D	D	E	B	C	C	C	C	B	B	B	C	B	B	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	E	D	E	D	E

アセスメント・マップ

評価形式		① 評価形式ごとの評価割合（%）	I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
1	定期試験：筆記試験（記述式）	80	a	a			a			a		b	b							b	a	b	b	c				c	c	c	c	c	c	c											
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
5	口頭試験																																												
6	レポート	10		b			c		c	c	c	c		c						c	a	b	b	c		b		c	b																
7	成果発表	10	c		a	a		a						c						c	b	c	c		a	b	c	c	a																
8	質問紙法																																												
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																												
10	OSCE																																												
11	監査（オーディット）																																												
12	ポートフォリオ																																												
13	自己評価																																												
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																												
合計（100%）		100																																											

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮した医療の実践に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進を身につけ疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
病理学実習	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	B	B	B	B	B	B	E	E	B	B	E	E	B	B	B	B	B	B	E	D	E	E	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		B																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	5					a	a	a	a	a	b			a	b			b	b	b	b	b																								
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	5					a	a	a	a	a	b			a	b			b	b	b	b	b																								
		5 口頭試験																																														
		6 レポート	70					b	b	b	b	b	b			a	b			a	a	a	a	a						b	b	b	b	b														
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 実習態度、コミュニケーション、身なり等を観察評価	20									b	a											a	a					a	a	a	a	a														
		合計（100%）	100																																													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

| 科目名 | 単位数 | 学修成果と評価方法 | 札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー | | |

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 医学知識 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 医療の実践 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。
内分泌・代謝病学	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	C	C	C	C	D	D
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100							a	a	a	a	a	b	b	b			
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																	
		5 口頭試験																	
		6 レポート																	
		7 成果発表																	
		8 質問紙法																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																	
		10 OSCE																	
		11 監査（オーディット）																	
		12 ポートフォリオ																	
		13 自己評価																	
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																	
		合計（100%） 100																	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	IV. 問題対応能力 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. コミュニケーション 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 科学的探求 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 地域医療 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 国際貢献 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
			医学・医療に関する基礎的な知識を有し活用できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々に敬意を払って接することができる。ことを理解し、常に他者の意思を尊重する。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重する。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
内分泌・代謝病学	1	カリキュラム・マップ	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																									
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																								
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																									
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100	c	c	c	c	c																				
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																									
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																									
		5 口頭試験																									
		6 レポート																									
		7 成果発表																									
		8 質問紙法																									
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																									
		10 OSCE																									
		11 監査（オーディット）																									
		12 ポートフォリオ																									
		13 自己評価																									
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																									
		合計（100%） 100																									

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
血液学	0.5	カリキュラム・マップ	C	C	B	B	C	C	B	B	B	B	B	C	C	C	C	D	D	E	C	C	C	C	B	C	C	D	E	C	C	C	D	D	E	E	E	C	C	E	D	D	E	C

アセスメント・マップ

評価形式		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																															
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																																	
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100							a	a	a																																							
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																	
5	口頭試験																																																	
6	レポート																																																	
7	成果発表																																																	
8	質問紙法																																																	
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																	
10	OSCE																																																	
11	監査（オーディット）																																																	
12	ポートフォリオ																																																	
13	自己評価																																																	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																	
合計（100%）		100																																																

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮した医療の実践に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
消化器内科学	2	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	C	C	C	B	D	E	B	B	E	E	E	E	E	E	E	C	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

評価形式		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100							a	a	a	a																																				
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
合計（100%）		100																																														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
免疫・アレルギー疾患	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	C	C	C	D	E	E	E	D	D	D	E	C	E	E	E	C	E	D	D	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
	評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 95							a	a	a	a		a	a	a																					a								
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 5																							a				a																
		合計（100%） 100																																											

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できない既存の知識や技能では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
呼吸器病学	1,5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	C	C	C	C	D	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 90							a	a	a	a		a	a	a																																
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート																																														
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10																																														
		合計（100%） 100																																														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
腎臓病学	0.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	C	C	C	C	D	D	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

評価形式		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100							a	a	a	a	a	b	b	b	b			c	c	c	c	c																								
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
合計（100%）		100																																														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力をつけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
神経内科学	1	カリキュラム・マップ	C	D	C	C	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	D	C	D	D	E	D	D	D	D

アセスメント・マップ

評価形式		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	95							a	a	a	a	a													a				a			c	c	c											
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
5	口頭試験																																														
6	レポート																																														
7	成果発表																																														
8	質問紙法																																														
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
10	OSCE																																														
11	監査（オーディット）																																														
12	ポートフォリオ																																														
13	自己評価																																														
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5																								a				a																	
合計（100%）		100																																													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮した医療の実践に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
循環器内科学	1.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	C	C	C	C	D	D	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

評価形式		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100							a	a	a	a	a	b	b	b	b			c	c	c	c	c																							
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
合計（100%）		100																																														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 医学知識 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 医療の実践 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 問題対応能力 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. コミュニケーション 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 科学的探求 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 地域医療 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 国際貢献 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生涯学習の必要性を理解し、自己研鑽する重要性を説明できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	抽出できる。医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々に敬意を払って社会的背景が多様である。ことを理解し、常に他者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
臨床腫瘍学	0.5	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	E	B	C	C	C	C	D	E	E	B	D	E	E	D	D	D	D	E	E	D	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）				②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90	a	a	a	a		a	a	a	a	a			a																													
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他（受講態度等）	10																																										
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮した医療の実践に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力をつけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
放射線診断・核医学	0.5	カリキュラム・マップ	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	D	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

| ① 評価形式ごとの評価割合（%） | | | | ②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目） | | | |

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
皮膚科学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	D	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 95							a	a	a	a							
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																	
		5 口頭試験																	
		6 レポート																	
		7 成果発表																	
		8 質問紙法																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																	
		10 OSCE																	
		11 監査（オーディット）																	
		12 ポートフォリオ																	
		13 自己評価																	
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載「出席状況を考慮し決定 5							a	a	a	a							
		合計（100%） 100																	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅲ. 医療の実践					Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション				
			1 抽出できる。医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	2 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	5 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。
皮膚科学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）															
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 95															
		3 小テスト：筆記試験（記述式）															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
		5 口頭試験															
		6 レポート															
		7 成果発表															
		8 質問紙法															
		9 直接観察法（模型または実際の患者）															
		10 OSCE															
		11 監査（オーディット）															
		12 ポートフォリオ															
		13 自己評価															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載「出席状況を考慮し決定 5															
		合計（100%） 100															

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医学的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
皮膚科学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）															
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 95															
		3 小テスト：筆記試験（記述式）															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
		5 口頭試験															
		6 レポート															
		7 成果発表															
		8 質問紙法															
		9 直接観察法（模型または実際の患者）															
		10 OSCE															
		11 監査（オーディット）															
		12 ポートフォリオ															
		13 自己評価															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載「出席状況を考慮し決定 5															
		合計（100%） 100															

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 医学知識 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 医療の実践 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 問題対応能力 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. コミュニケーション 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 科学的探求 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 地域医療 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 国際貢献 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に配慮できる。	地域医療の中で国際化に配慮できる。課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療を実践できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
小児科学	2.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）				②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100						a	a	a	a	a							b	b	b	b	b						b	b	b	b	b											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 医学知識 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5
外科学総論	0.5	カリキュラム・マップ	C	D	C	C	D	C	C	C	C	C	C
		アセスメント・マップ											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100	c		c	c		c	a	a	a	a	a
	3	小テスト：筆記試験（記述式）											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）											
	5	口頭試験											
	6	レポート											
	7	成果発表											
	8	質問紙法											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）											
	10	OSCE											
	11	監査（オーディット）											
	12	ポートフォリオ											
	13	自己評価											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載											
		合計（100%） 100											

科目名	単位数	学修成果と評価方法	III. 医療の実践 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 問題対応能力 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5
外科学総論	0.5	カリキュラム・マップ	D	D	C	C	C	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100	b		c	b	b						
	3	小テスト：筆記試験（記述式）											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）											
	5	口頭試験											
	6	レポート											
	7	成果発表											
	8	質問紙法											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）											
	10	OSCE											
	11	監査（オーディット）											
	12	ポートフォリオ											
	13	自己評価											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載											
		合計（100%） 100											

科目名	単位数	学修成果と評価方法	V. コミュニケーション 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 科学的探求 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5
外科学総論	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ										
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）										
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100									c	
	3	小テスト：筆記試験（記述式）										
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）										
	5	口頭試験										
	6	レポート										
	7	成果発表										
	8	質問紙法										
	9	直接観察法（模型または実際の患者）										
	10	OSCE										
	11	監査（オーディット）										
	12	ポートフォリオ										
	13	自己評価										
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載										
		合計（100%） 100										

科目名	単位数	学修成果と評価方法	VII. 地域医療 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 国際貢献 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
外科学総論	0.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ										
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）										
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100										
	3	小テスト：筆記試験（記述式）										
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）										
	5	口頭試験										
	6	レポート										
	7	成果発表										
	8	質問紙法										
	9	直接観察法（模型または実際の患者）										
	10	OSCE										
	11	監査（オーディット）										
	12	ポートフォリオ										
	13	自己評価										
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載										
		合計（100%） 100										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ（学修成果）

I. プロフェッショナリズム
1. 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。
2. 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。
3. 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。
4. 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。
5. 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。
6. 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。

II. 医学知識
1. 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。
2. 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。
3. 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。
4. 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。
5. 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。

III. 医療の実践
1. 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。
2. 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。
3. 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。
4. 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。
5. 医療安全、感染症対策を実践できる。
6. 災害時の医療について説明できる。

IV. 問題対応能力
1. 医学・医療において出できる。既存の知識や技能では対応できない問題を抽
2. 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。
3. 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。
4. 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。
5. 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。

V. コミュニケーション
1. 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。
2. 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。
3. 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。
4. 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。
5. 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。

VI. 科学的探求
1. 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。
2. 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。
3. 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。
4. 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。
5. 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。

VII. 地域医療
1. 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。
2. 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。
3. プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。
4. 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。
5. 地域医療の中で国際化に配慮した医療の実践に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重できる。

VIII. 国際貢献
1. 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
2. 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
3. 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
4. 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。
5. 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
外科腫瘍学	0.5	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	D
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100	c	c	c	c	c	c	a	a	a	a	a	b	c	c	b	b	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																	
		5 口頭試験																	
		6 レポート																	
		7 成果発表																	
		8 質問紙法																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																	
		10 OSCE																	
		11 監査（オーディット）																	
		12 ポートフォリオ																	
		13 自己評価																	
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																	
		合計（100%） 100																	

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅲ. 医療の実践					Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション				
			1 抽医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観を尊重し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。
外科腫瘍学	0.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）															
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100															
		3 小テスト：筆記試験（記述式）															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
		5 口頭試験															
		6 レポート															
		7 成果発表															
		8 質問紙法															
		9 直接観察法（模型または実際の患者）															
		10 OSCE															
		11 監査（オーディット）															
		12 ポートフォリオ															
		13 自己評価															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
		合計（100%） 100															

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
外科腫瘍学	0.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）															
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100															
		3 小テスト：筆記試験（記述式）															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
		5 口頭試験															
		6 レポート															
		7 成果発表															
		8 質問紙法															
		9 直接観察法（模型または実際の患者）															
		10 OSCE															
		11 監査（オーディット）															
		12 ポートフォリオ															
		13 自己評価															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
		合計（100%） 100															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
消化器外科学	1.5	カリキュラム・マップ	C	D	C	C	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	D	D	D	C	C	D	D	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

評価形式		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	c		c	c		c	a	a	a	a	a	b	b	b	b	b														c	c			c	c										
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
合計（100%）		100																																														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			る。医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用でき	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明でき	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断でき	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価でき	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践でき	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療における抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができ	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要で	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることがで	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践でき	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明でき	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
泌尿器科学	1	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式																																											
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																										
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90							a	a	a	a	a	a	a	a																											
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																										
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																										
5	口頭試験																																										
6	レポート																																										
7	成果発表																																										
8	質問紙法																																										
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																										
10	OSCE																																										
11	監査（オーディット）																																										
12	ポートフォリオ																																										
13	自己評価																																										
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10							b	b	b	b	b	b	b	b																											
合計（100%）		100																																									

目標とする平均点	75点
再試験の回数	2回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 医学知識 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 医療の実践 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 問題対応能力 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. コミュニケーション 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 科学的探求 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 地域医療 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 国際貢献 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
			る。医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用でき	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力をつけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
脳神経外科学	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

評価形式		①評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																												
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	95							a	a	a	a																																	
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
5	口頭試験																																												
6	レポート																																												
7	成果発表																																												
8	質問紙法																																												
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																												
10	OSCE																																												
11	監査（オーディット）																																												
12	ポートフォリオ																																												
13	自己評価																																												
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5												b	b	b	b								b	b	b																		
合計（100%）		100																																											

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
循環器外科学	1,5	カリキュラム・マップ	E	E	D	D	E	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100							a	a	a	a	a	b	b	b	b	b	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																	
		5 口頭試験																	
		6 レポート																	
		7 成果発表																	
		8 質問紙法																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																	
		10 OSCE																	
		11 監査（オーディット）																	
		12 ポートフォリオ																	
		13 自己評価																	
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																	
		合計（100%） 100																	

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

科目名	単位数	学修成果と評価方法	IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医学・医療において抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観を尊重し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
循環器外科学	1,5	カリキュラム・マップ	C	C	C	C	C	C	C	D	D	C	C	C	C	C	C	C	C	D	C	C	E	E	E	E	D
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																									
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100	c	c	c	c	c																				
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																									
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																									
		5 口頭試験																									
		6 レポート																									
		7 成果発表																									
		8 質問紙法																									
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																									
		10 OSCE																									
		11 監査（オーディット）																									
		12 ポートフォリオ																									
		13 自己評価																									
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																									
		合計（100%） 100																									

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
産科・婦人科学	1.5	カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 90	a	a	a	a	a	a	b	b	a	a	a	a	a	a	a	a	a
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																	
		5 口頭試験																	
		6 レポート																	
		7 成果発表																	
		8 質問紙法																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																	
		10 OSCE																	
		11 監査（オーディット）																	
		12 ポートフォリオ																	
		13 自己評価																	
		14 その他 出席状況、授業態度など 10	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c
		合計（100%） 100																	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医学・医療において抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意思を尊重し、常に他者に敬の意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
産科・婦人科学	1.5	カリキュラム・マップ	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																								
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																									
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 90	b	b	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	b	a	a	a	a	a	a	a	a	a
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																									
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																									
		5 口頭試験																									
		6 レポート																									
		7 成果発表																									
		8 質問紙法																									
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																									
		10 OSCE																									
		11 監査（オーディット）																									
		12 ポートフォリオ																									
		13 自己評価																									
		14 その他 出席状況、授業態度など 10	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c
		合計（100%） 100																									

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮した医療の実践に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力をつけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1	カリキュラム・マップ	C	C	C	B	C	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	E	C	B	B	B	C	B	B	B	B	B	C	C	C	C	C	C	E	B	B	C	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

評価形式		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
1	定期試験：筆記試験（記述式）	100								a	a	a																																				
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
合計（100%）		100																																														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
整形外科学	1	カリキュラム・マップ	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

評価形式		①評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
1	定期試験：筆記試験（記述式）	95							a	a	a	a																		a	a																
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5 出席状況、授業態度	b	b	b	b	b	b	a	a	a	a	b	b	b	b	b	b		b	b	b	b	b						b	a	a	b	b													
合計（100%）		100																																														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って接することができる。ことを理解し、常に他	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
口腔外科学	0.5	カリキュラム・マップ	c	D	E	D	D	c	c	B	B	B	c	D	D	c	D	D	E	D	c	c	c	c	D	E	D	E	E	c	c	c	c	c	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）				②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																								
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	30							a	a	a									b																								
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	60							a	a	a																																	
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載→出席状況、授業態度	10																						c																				
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疫病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
衛生学	1	カリキュラム・マップ	C	B	C	B	A	C	B	B	D	C	B	E	D	D	C	B	E	C	B	B	B	C	E	E	E	E	E	B	B	B	B	D	B	C	C	E	C	B	A	B	A	B
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
	評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	50		b			a	c				c	c		c	c	c	a		c	b	b	b	c						b	b	b	b		b	c	c		c	c	a	b	a	b
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	40		b			a					c			c		c	a														b	b		b	c	c		c		a	b	a	b
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																																															
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
	5 口頭試験																																															
	6 レポート																																															
	7 成果発表																																															
	8 質問紙法																																															
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																																															
	10 OSCE																																															
	11 監査（オーディット）																																															
	12 ポートフォリオ																																															
	13 自己評価																																															
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10	c		c	c																																										
	合計（100%）	100																																															

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 抽出できる医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の尊厳を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
公衆衛生学	3.5	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	E	E	C	C	B	B	B	B	B	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	C	B	B	B	B	B
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
評価形式 2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a					b	a	a	a	b	b	a	b	b	b	b	a	a	a	a	b	b	b	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
評価形式 3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
評価形式 4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
評価形式 5	口頭試験																																															
評価形式 6	レポート																																															
評価形式 7	成果発表																																															
評価形式 8	質問紙法																																															
評価形式 9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
評価形式 10	OSCE																																															
評価形式 11	監査（オーディット）																																															
評価形式 12	ポートフォリオ																																															
評価形式 13	自己評価																																															
評価形式 14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
	合計（100%）	100																																														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
社会医学実習	1	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	E	E	C	C	B	B	B	B	B
		アセスメント・マップ																						
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																					
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																						
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																						
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																						
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																						
	5	口頭試験																						
	6	レポート	70	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a					b	b	a	a	a	a	a
	7	成果発表	20	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a					b	b	a	a	a	a	a
	8	質問紙法																						
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																						
	10	OSCE																						
	11	監査（オーディット）																						
	12	ポートフォリオ																						
	13	自己評価																						
	14	その他（態度・積極性）	10	a				a																
		合計（100%）	100																					

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意を敬の意価値観を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
社会医学実習	1	カリキュラム・マップ	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																				
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																				
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																				
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																				
	5	口頭試験																				
	6	レポート	b	b	b	b	a	a	a	a	a	a	a	a	b	a	a	a	a	a	a	a
	7	成果発表	b	b	b	b	a	a	a	a	a	a	a	a	b	a	a	a	a	a	a	a
	8	質問紙法																				
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																				
	10	OSCE																				
	11	監査（オーディット）																				
	12	ポートフォリオ																				
	13	自己評価																				
	14	その他（態度・積極性）	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a										
		合計（100%）																				

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学英語4	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート																																														
		7 成果発表	100											a	a	a	a							a	a	a	a	a												b					
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できる既存の知識や技能では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学概論・医療総論4	0.5	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 70	a	a	a	a	a	a						a	a	a	a	a	a																													
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
	3	小テスト：筆記試験（記述式） 30	a	a	a	a	a	a						a	a	a	a	a	a																													
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート																																														
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%） 100																																														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々に敬意を払って接することができる。人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
PBL チュートリアル	1.5	カリキュラム・マップ	D	D	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	D	B	E	C	E	B	B	B	B	C	E	E	E	E	B	C	E	C	E	C	E	E	E	E	E	D	D	D	E	E
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																												
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
	5	口頭試験																																												
	6	レポート	40						a	a	a	a	b		c	a				b	a	a	a		c				c			b	b												
	7	成果発表	30						a	a	a	a	b		c	a				b	a	a	a		c				c			b	b												
	8	質問紙法																																												
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																												
	10	OSCE																																												
	11	監査（オーディット）																																												
	12	ポートフォリオ																																												
	13	自己評価																																												
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	30																						a																					
		合計（100%）	100																																											

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない既存の知識や技能では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
応用医療情報科学	1	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	D	E	E	E	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	B	B	B	B	C	B	C	C	E	C	C	C	C	C	C

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式）																																												
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a			b				a	a	a	a	a						a	a	a	a	b	a	a	a		b	b	b	b	b	b
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
5	口頭試験																																												
6	レポート																																												
7	成果発表																																												
8	質問紙法																																												
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																												
10	OSCE																																												
11	監査（オーディット）																																												
12	ポートフォリオ																																												
13	自己評価																																												
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																												
合計（100%）		100																																											

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
地域医療合同セミナー4	1	カリキュラム・マップ	c	D	D	D	D	c	E	E	E	c	D	D	D	D	E	D	D	D	D	D	E	D
		アセスメント・マップ																						
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																					
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																						
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																						
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																						
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																						
		5 口頭試験																						
		6 レポート 20	a					b				c												
		7 成果発表 50	a					b				c												
		8 質問紙法																						
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																						
		10 OSCE																						
		11 監査（オーディット）																						
		12 ポートフォリオ																						
		13 自己評価 30	a					b				c												
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																						
		合計（100%） 100																						
		目標とする平均点	90点																					
		再試験の回数	1回																					
		授業形態	対面授業科目																					

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の敬意を払って接することができる。ことを理解し、常に他	1 医学的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる。を説明し、価値観の多様性を尊重し	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
地域医療合同セミナー4	1	カリキュラム・マップ	B	C	B	D	C	D	E	E	E	E	D	D	D	D	D	D	D	E	E	D
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																				
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																				
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																				
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																				
		5 口頭試験																				
		6 レポート 20	b	b	c		b															
		7 成果発表 50	b	b	a		b															
		8 質問紙法																				
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																				
		10 OSCE																				
		11 監査（オーディット）																				
		12 ポートフォリオ																				
		13 自己評価 30	b	c	b		b															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																				
		合計（100%） 100																				
		目標とする平均点																				
		再試験の回数																				
		授業形態																				

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない知識や技能を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
医療統計学2	0.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	B	D	C	C	D	C	C	E	E	E	D	D	D	D	D	B	B	D
		アセスメント・マップ																						
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																					
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																						
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																						
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																						
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	30				a		a	a			a											
	5	口頭試験																						
	6	レポート	70				a					a										a	a	
	7	成果発表																						
	8	質問紙法																						
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																						
	10	OSCE																						
	11	監査（オーディット）																						
	12	ポートフォリオ																						
	13	自己評価																						
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																						
		合計（100%）	100																					

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の尊厳を払って接することができる。ことを理解し、常に他	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割ができる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる。を説明し、価値観の多様性を尊重し医療	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療統計学2	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	D	E	E	E	D	D	D	D	C	D
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																				
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																				
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																				
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）							a													
	5	口頭試験																				
	6	レポート						a		a	a									a		
	7	成果発表																				
	8	質問紙法																				
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																				
	10	OSCE																				
	11	監査（オーディット）																				
	12	ポートフォリオ																				
	13	自己評価																				
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																				
		合計（100%）																				

目標とする平均点	75点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
精神医学	2	カリキュラム・マップ	c	B	c	c	B	c	B	B	B	B	B	c	B	B	c	c	c	c	c	c	c	B	B	c	c	c	B	B	B	B	B	c	B	B	c	c	c	B	c	B	c	B

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）				②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100		a			a		a	a	a	a	a		a	a							a	a				a	a	a	a	a		a	a				a		a		a
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
IVR・放射線治療	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	D	E	D	B	B	D	B	D	D	D	B	B	D	E	D	D	B	D	D	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	B	D	E	E	D	E	E	E	D	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
	評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式） 10							a	a		a				a	a					a												a												
	評価形式 2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 90							a	a		a				a	a					a												a												
	評価形式 3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	評価形式 4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	評価形式 5	口頭試験																																														
	評価形式 6	レポート																																														
	評価形式 7	成果発表																																														
	評価形式 8	質問紙法																																														
	評価形式 9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	評価形式 10	OSCE																																														
	評価形式 11	監査（オーディット）																																														
	評価形式 12	ポートフォリオ																																														
	評価形式 13	自己評価																																														
	評価形式 14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%） 100																																														
		目標とする平均点	75点																																													
		再試験の回数	1回																																													
		授業形態	対面授業科目																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者に敬意を払い、患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意思を尊重し敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療薬学	0.5	カリキュラム・マップ	c	c	D	D	E	c	c	c	c	c	D	D	D	D	D	c	D	D	D	D	D	D	D	E	c	D	D	c	D	D	D	D	D	D	E	c	D	E	D	D	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	20						c	c	b	a					b																												
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	70						c	c	b	a					b																												
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10						c	c	c	c					c																												
		合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者に着けている。患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意思を尊重し敬の意思を払って接することができる。ことを理解し、常に他	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
統合医療学	0.5	カリキュラム・マップ	c	D	c	c	D	D	c	c	c	c	D	c	c	D	c	D	D	D	D	D	D	D	D	D	c	D	D	c	c	D	D	c	D	D	D	c	D	E	c	D	E	D

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）				②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	20							c	c	b	a					b																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	70							c	c	b	a					b																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																																										
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの構成員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
総合診療入門	1	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 100	b	b	b	b	b	b	a	a	c	c	c								a	a	c	c	c	c	c	c	c						a	a	a	a	a					
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート																																														
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%） 100																																														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の敬意を払って社会的背景が多様である患者に敬の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者と接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
臨床検査医学	1.5	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	E	E	B	E	B	B	B	B	B	B	E	B	B	B	B	B	B	B	B	E	B	E	B	E	E	E	B	E	B	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）				②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90							a		a						a																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																							a				a															
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者に着けている。患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意思を尊重し敬の意を払って接することができる。ことを理解し、常に他者	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
リハビリテーション医学	1.5	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	B	B	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	D	D	D	c	D
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
	評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100							a	a					a																					a	a	a	a						
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%） 100																																											

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
臨床疫学	0.5	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																	
		5 口頭試験																	
		6 レポート 100								a			a						
		7 成果発表																	
		8 質問紙法																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																	
		10 OSCE																	
		11 監査（オーディット）																	
		12 ポートフォリオ																	
		13 自己評価																	
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																	
		合計（100%） 100																	

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療				
			1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。
臨床疫学	0.5	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	c	B	B	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																				
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																				
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																				
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																				
		5 口頭試験																				
		6 レポート 100		a	a	a	a						a	a	a	a	a					
		7 成果発表																				
		8 質問紙法																				
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																				
		10 OSCE																				
		11 監査（オーディット）																				
		12 ポートフォリオ																				
		13 自己評価																				
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																				
		合計（100%） 100																				

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅷ. 国際貢献				
			1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
臨床疫学	0.5	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	c
		アセスメント・マップ					
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）				
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）					
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）					
		3 小テスト：筆記試験（記述式）					
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）					
		5 口頭試験					
		6 レポート 100				a	
		7 成果発表					
		8 質問紙法					
		9 直接観察法（模型または実際の患者）					
		10 OSCE					
		11 監査（オーディット）					
		12 ポートフォリオ					
		13 自己評価					
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載					
		合計（100%） 100					

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	抽出できる。医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者の意思を尊重して接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
緩和医療学	0.5	カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	S	S	S	S	S	A	A	A	A	A	S	S	A	A	A	A	A	A	A	A	A

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）				②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	50	a	a	a	a		a	a	a	a	a	a		a	a								a	a				a	a	a	a	a											a
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50	a	a	a	a		a	a	a	a	a	a		a	a								a	a				a	a	a	a	a											a
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の敬意を払って接することができる。ことを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
症候診断学	1.5	カリキュラム・マップ	c	D	c	c	D	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	E	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	E	D	c	D	D	E	D	D	D	D
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	95						a	a	a	a	a												a				a			c	c	c												
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート																																														
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5																						a				a																			
		合計（100%）	100																																													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々に敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
麻酔科学	0.5	**カリキュラム・マップ**	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	S	S	S	S	S	A	A	A	A	A	S	S	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 90								a	b	c																																	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10				c																																							
		合計（100%） 100																																											
		目標とする平均点	75点																																										
		再試験の回数	1回																																										
		授業形態	対面授業科目																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
形成外科学	1	カリキュラム・マップ	c	E	D	E	E	E	c	B	B	B	D	E	c	c	B	D	E	c	c	E	c	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	c	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

| ① 評価形式ごとの評価割合（%） | | | ②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目） | | | | | |

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5		1	2	3	4	5		1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。		病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。		医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。		礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の意向を尊重し敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に接することができる。		先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。		地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療の実践に関する。		国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
救急災害医学	1	カリキュラム・マップ	c	c	D	D	D	D	D	c	D	c	D		c	c	c	c	c	B	D	D	D	D	D		E	E	D	D	D		D	D	D	D	D		D	D	E	E	E		D	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																																
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																															
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100	a	a			b			a		a			a	a	a	a	a	a																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																
		5 口頭試験																																																
		6 レポート																																																
		7 成果発表																																																
		8 質問紙法																																																
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																
		10 OSCE																																																
		11 監査（オーディット）																																																
		12 ポートフォリオ																																																
		13 自己評価																																																
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																
		合計（100%） 100																																																

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意思を尊重し敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
集中治療医学	0.5	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
	評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																															
	評価形式 2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100			a			a			a	a			a		a	a	b			a	a			a		a			a	a			b											
	評価形式 3 小テスト：筆記試験（記述式）																																															
	評価形式 4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
	評価形式 5 口頭試験																																															
	評価形式 6 レポート																																															
	評価形式 7 成果発表																																															
	評価形式 8 質問紙法																																															
	評価形式 9 直接観察法（模型または実際の患者）																																															
	評価形式 10 OSCE																																															
	評価形式 11 監査（オーディット）																																															
	評価形式 12 ポートフォリオ																																															
	評価形式 13 自己評価																																															
	評価形式 14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
	合計（100%）	100																																														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において抽出できない問題では対応できない既存の知識や技能	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
眼科学	1	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	c	c	B	B	B	B	c	B	B	B	B	B	c	c	c	c	c	c	B	B	B	B	B	c	c	c	c	c	c	E	c	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）				②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	100	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意価を払って接することができる。ことを理解し、常に他者に敬意を	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
臨床入門	2	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	B	B	B	B	B	B	B	C	C	B	B	E	C	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE 50				a		a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a		a	a	a	a	a	a	a			a																
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 50 CBT	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a		a	a	a	a	a																					
		合計（100%） 100																																											

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の意向を尊重し敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療安全管理学	0.5	カリキュラム・マップ	B	B	C	C	B	C	E	D	E	D	D	C	C	C	B	B	E	D	D	D	B	C	E	B	B	E	D	C	D	C	D	D	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 90	a				b										b	a					b				a																					
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 10					b											b																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート																																														
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%） 100																																														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬の意を払って接することができる。
法医学・医事法	2.5	カリキュラム・マップ	c	A	A	D	S	C	D	D	D	D	D	E	E	E	E	D	C	D	D	D	D	D	D	E	E	E	D
		アセスメント・マップ																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	35	b	a	a		a	b	c	c	c	c	c					b	a	b	b	b	b	b					
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	35	b	a	a		a	b	c	c	c	c	c					b	a	b	b	b	b	b					
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																											
		5 口頭試験																											
		6 レポート	20	b	a	a		a	b	c	c	c	c	c					b	a	b	b	b	b	b	a				
		7 成果発表																											
		8 質問紙法																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																											
		10 OSCE																											
		11 監査（オーディット）																											
		12 ポートフォリオ																											
		13 自己評価																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 出席状況																							b	b		
		合計（100%）	100																										

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
法医学・医事法	2.5	カリキュラム・マップ	D	E	E	E	D	D	D	E	E	E	E	E	E	D	D
		アセスメント・マップ															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	b	b	b	b	b									c	c
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	b	b	b	b	b									c	c
		3 小テスト：筆記試験（記述式）															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
		5 口頭試験															
		6 レポート	a	b	b	a	b	a								c	c
		7 成果発表															
		8 質問紙法															
		9 直接観察法（模型または実際の患者）															
		10 OSCE															
		11 監査（オーディット）															
		12 ポートフォリオ															
		13 自己評価															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
		合計（100%）															

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において抽出できない問題を	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の意思を尊重し敬の意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療統計学３	0.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	B	D	C	C	D	E	C	E	E	E	C	D	D	C	B	B	C	C	E	E	E	E	E	B	B	B	B	C	D	E	E	E	D	C	D	D	C	C

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	20					a		a	a			a																	a														
	5	口頭試験																																											
	6	レポート	50				a					a										a	a							a		a	a										a		
	7	成果発表	30				a					a																		a		a	a										a		
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において抽出できない問題では対応できない問題を	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の敬意を払って社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
総合講義1	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	A	A	A	A	D	A	A	A	A	A	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）				②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	50						a	a	a								b																										
	5	口頭試験																																											
	6	レポート	30						c	c	c	a							a																										
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他（GW等における態度評価：ルーブリック）	20											a	a	a	a	a																											
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
総合講義	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	A	A	A	A	D	A	A	A	A	A	A
		アセスメント・マップ																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）																		
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50							a	a	a	a		a	a	a	a	a	a
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																		
	5 口頭試験																		
	6 レポート																		
	7 成果発表																		
	8 質問紙法																		
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																		
	10 OSCE	50								c		c		a	b	a	b	a	
	11 監査（オーディット）																		
	12 ポートフォリオ																		
	13 自己評価																		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																		
	合計（100%）	100																	
	目標とする平均点	75点																	
	再試験の回数	1回																	
	授業形態	対面授業科目																	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療				
			1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の意価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療を実践できる。
総合講義	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）																					
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50																				
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																					
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																					
	5 口頭試験																					
	6 レポート																					
	7 成果発表																					
	8 質問紙法																					
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																					
	10 OSCE	50																				
	11 監査（オーディット）																					
	12 ポートフォリオ																					
	13 自己評価																					
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																					
	合計（100%）	100																				
	目標とする平均点	75点																				
	再試験の回数	1回																				
	授業形態	対面授業科目																				

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅷ. 国際貢献				
			1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
総合講義	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ					
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）				
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）						
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50					
	3 小テスト：筆記試験（記述式）						
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）						
	5 口頭試験						
	6 レポート						
	7 成果発表						
	8 質問紙法						
	9 直接観察法（模型または実際の患者）						
	10 OSCE	50					
	11 監査（オーディット）						
	12 ポートフォリオ						
	13 自己評価						
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載						
	合計（100%）	100					
	目標とする平均点	75点					
	再試験の回数	1回					
	授業形態	対面授業科目					